

第 29 回エコデザイン学会連合/エコデザイン推進機構 特別講演会
「サーキュラーエコノミーを推進するエコデザインとデジタル化 ～EV 分野での事例を中心に」

2022 年 6 月 17 日(金)14:00～16:30 ZOOM と現地のハイブリッド開催 (ZOOM の URL は後日案内)

会場：東京大学工学部 2 号館 211 号室 (定員：50 名) (予定)

参加費：無料

参加・聴講方法：メール件名を「第 29 回特別講演会聴講希望」とし、secretariat@ecodenet.com
宛てに、氏名・所属・T e l を記入したメールをお送りください。

ZOOM の URL が確定しましたら、こちらからご連絡いたします。 **【申し込み期限：6 月 10 日 (金)】**

プログラム

1. 14:00～14:05 開会挨拶

2. 14:05～14:30

「欧州エコデザイン指令への対応や環境配慮設計と、サプライチェーンを繋ぐ CO2 可視化プラットフォーム構
想のご紹介(仮)」

富士通 (株) サステナビリティ推進本部 環境統括部 環境デザイン部 マネージャー 永野友子氏

内容：欧州エコデザイン指令への対応や競争力となる環境ラベル等で求められる環境情報について、環境配慮
設計の視点からの話題提供と、サプライチェーンを繋ぐプラットフォーム化について、CO2 排出量の可視化の
取り組みについてお話しする。

3. 14:30～15:00

「EV バッテリーのリサイクルと EV クラウドについて実践のご紹介 (仮)」

富士通 (株) Mobility 事業本部 シニアマネージャー 大久保康雄氏

内容：欧州電池規則への対応や、EV バッテリーのクラウドサービスやリサイクルについて実践事例をご紹介
するとともに、現状の課題について議論する。

4. 15:00～16:00

“Resource-Efficient Circular Production of Batteries: Driving Electric Mobility with the Circular
Economy” (英語での講演)

ドイツ ブラウンシュバイグ大学 教授 Arno Kwade, Prof. Dr.-Ing., Institut für Partikeltechnik (iPAT)、
Technische Universität Braunschweig

内容：自動車用バッテリーを中心としたドイツのサーキュラーエコノミーとデジタルについての最新動向を紹
介する。

3. 16:00～16:15 総合討論

以上